

**平成 30 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査
調査結果のポイントについて**

～北海道（公立）における調査結果～

北海道教育委員会

平成 30 年 12 月 20 日

【 目 次 】

1	調査の概要	1
2	結果の概要	2
	(1) 実技に関する調査	
	(2) 体格と肥満度に関する調査	
	(3) 児童生徒質問紙調査	
	(4) 学校質問紙調査	
3	実技に関する調査	6
	(1) 小学校男子	
	(2) 小学校女子	
	(3) 中学校男子	
	(4) 中学校女子	
4	体格と肥満度に関する調査	10
	(1) 小学校男子	
	(2) 小学校女子	
	(3) 中学校男子	
	(4) 中学校女子	
5	児童生徒質問紙調査	12
	(1) 運動に対する意識等	
	(2) 健康に対する意識等	
	(3) 体育の授業以外での運動やスポーツの実施時間	
	(4) 体育の授業に対する意識	
	(5) 達成感、挑戦、自己肯定感	
6	学校質問紙調査	24
	(1) 体力向上の取組の状況	
	(2) 体育の授業の状況	
	(3) 体育の授業以外の取組の状況	
	(4) 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の活用状況	
	(5) 新体力テストの実施状況	
	【参考1】札幌市を除く北海道の調査結果	33
	【参考2】新体力テストの種目及び実施方法等	35
	【参考3】新体力テスト項目別得点表及び総合評価基準表	36

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- 国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が子供の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査の対象及び調査内容

	調査対象	調査内容
児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員 ・中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の2年生全員 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様（P35を参照）） 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン（中学校は20mシャトルランに替えて持久走も可）、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（中学校はハンドボール投げ） ・質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び小学部もしくは中学部を置く特別支援学校の全校 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問紙調査（子供の体力・運動能力、運動習慣等の向上に係る学校の取組等）

(3) 調査の方法

悉皆調査

(4) 調査の実施期間

平成30年4月から平成30年7月末までの期間で実施

(5) 実施学校数・児童生徒数（公立学校）

北海道	調査対象校数（校）	実施校数（校）	児童生徒数（人）	全国	調査対象校数（校）	実施校数（校）	児童生徒数（人）
小学校	1,079	1,079	40,288	小学校	20,302	19,855	1,048,613
中学校	624	624	38,701	中学校	10,322	9,965	934,961
合 計	1,703	1,703	78,989	合 計	30,624	29,820	1,983,574

【用語説明】

用 語	解 説
体力合計点	種目によって単位が異なる測定値を、単位が共通な10点満点の「ものさし（尺度）」に変換し、8種目の結果を合計した得点。（80点満点）
T得点	全国平均値に対する相対的位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較。（全国平均を50とした時の数値）
総合評価	体力合計点の高い順にA～Eの5段階で評価。（項目別得点表及び総合評価基準表はP36を参照）

【留意事項】

- 本資料において、北海道及び全国の状況は、いずれも公立学校について示したものの。
- 国における実技調査、児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の回答の精査に当たっては、性別不明など一部のデータは集計・分析の対象外。
- 児童生徒質問紙と学校質問紙調査のレーダーチャートは、全国の割合を100とした場合の北海道の値（チャート指数：北海道の割合÷全国の割合×100）で表示。
- 本調査結果は、児童生徒の体力・運動能力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面。

2 結果の概要 (～P5)

(1)実技に関する調査

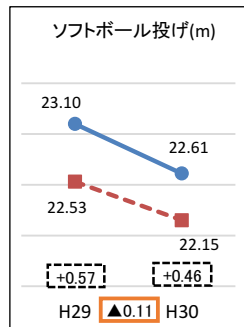
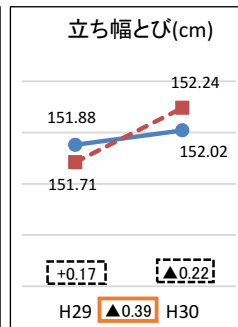
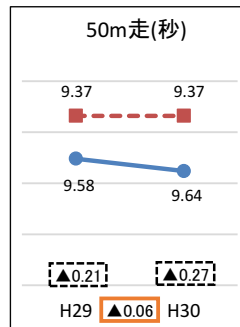
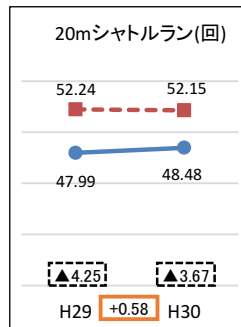
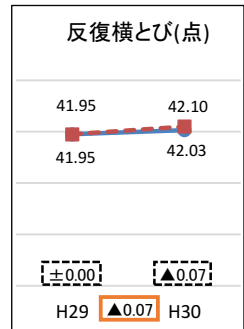
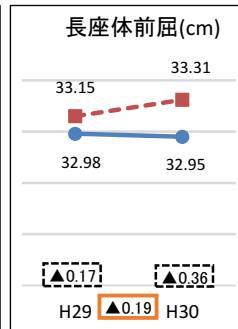
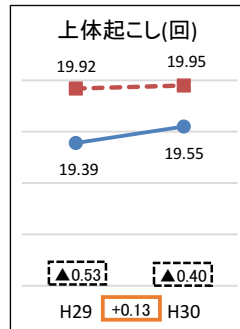
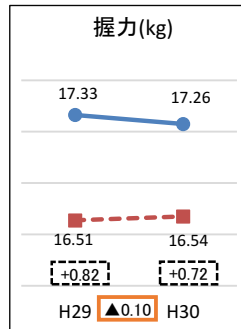
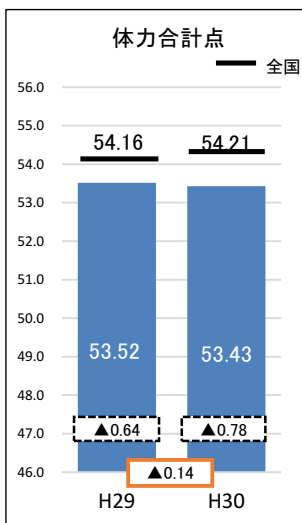
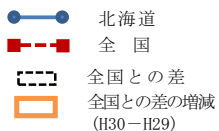
○ 体力合計点

- ・小中・男女いずれも全国平均を下回っている。
- ・昨年度と比較して小学校男子は僅かに下がったものの、小学校女子及び中学校男女は上昇し、小学校女子、中学校男子については全国との差を縮めている。

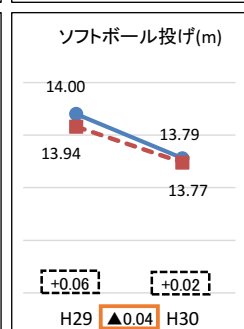
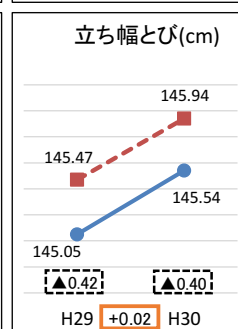
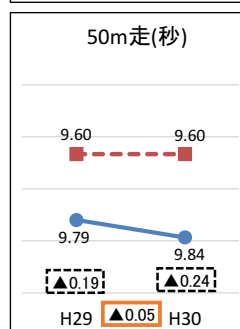
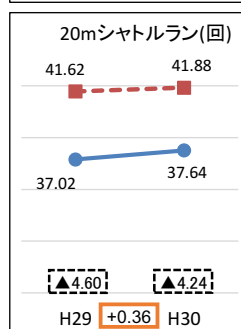
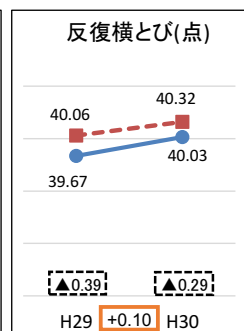
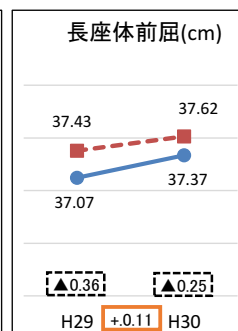
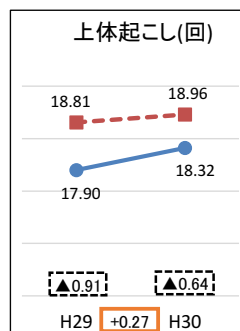
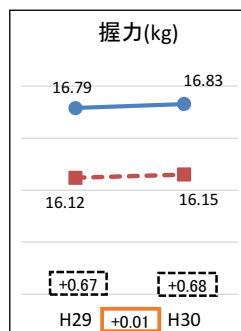
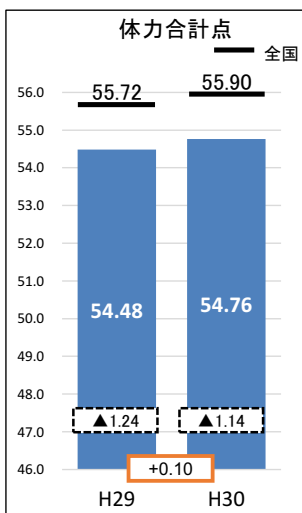
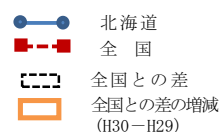
○ 各種目

- ・全国平均を上回った種目は、小学校男女の「握力」、「ソフトボール投げ」、中学校男子の「握力」である。
- ・小学校8種目中、男子は2種目、女子は5種目で、中学校9種目中、男子は3種目、女子は6種目で全国との差を縮めている。
- ・小学校女子の「握力」は、全国との差を広げている。

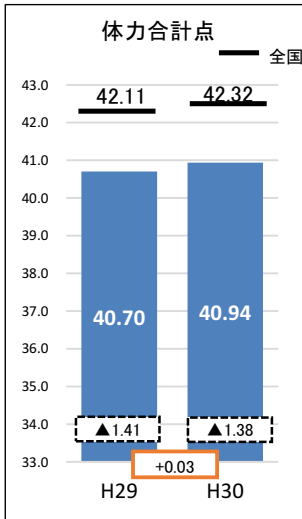
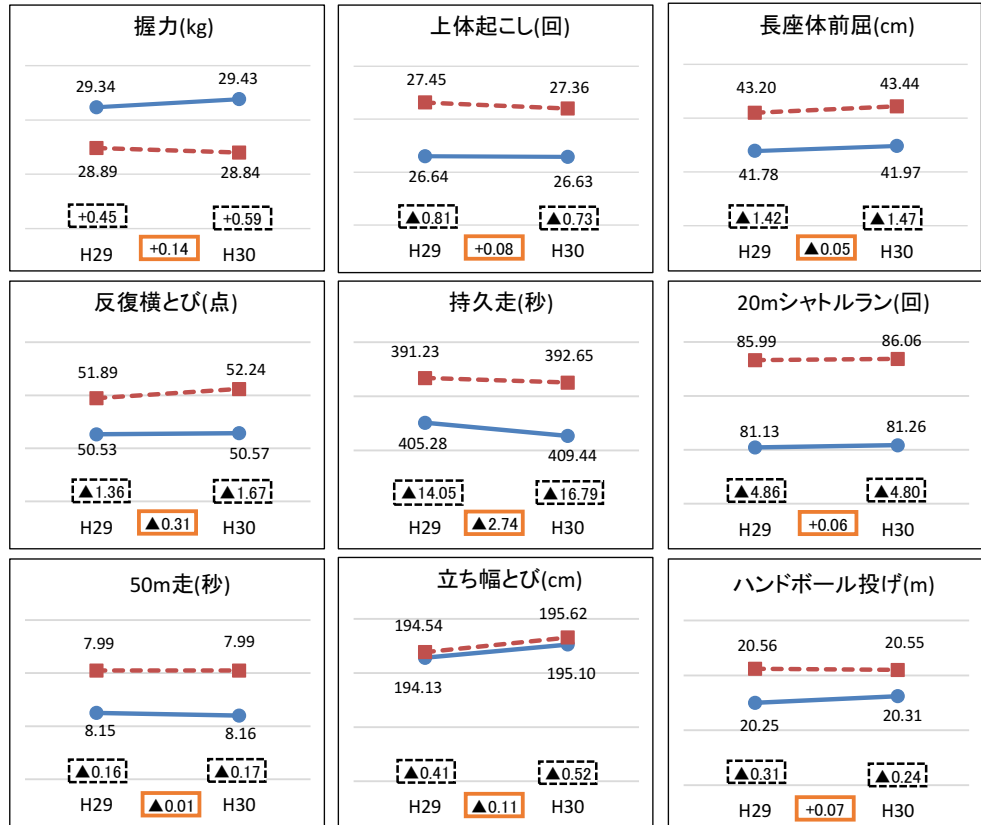
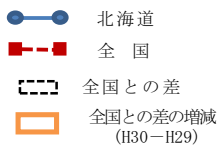
①小学校男子



②小学校女子

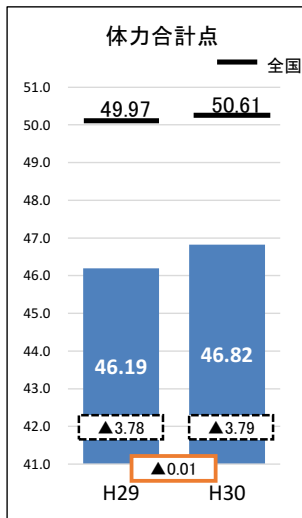
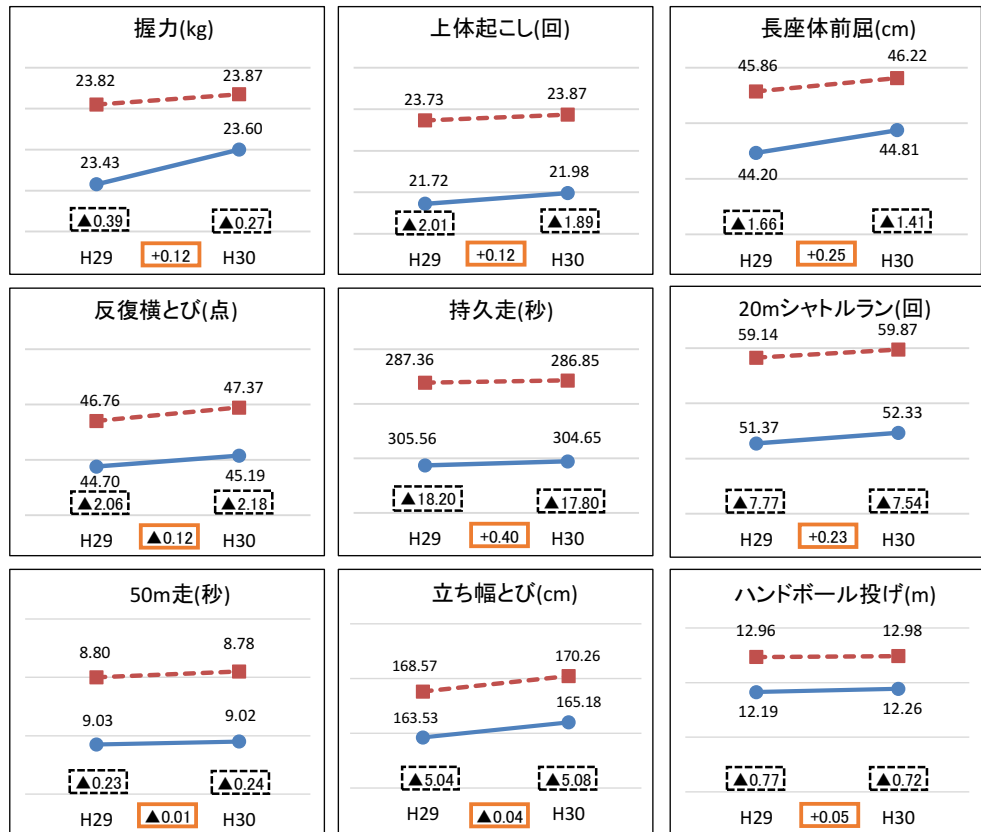
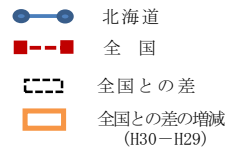


③中学校男子



※中学校では、持久走か20mシャトルランのいずれかを選択して実施

④中学校女子



※中学校では、持久走か20mシャトルランのいずれかを選択して実施

(2) 体格と肥満度に関する調査

※ () は全国との差

① 小学校

		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)		
		肥満	正常	痩身
H30 全国	男子	10.6	86.7	2.7
H30北海道	男子	14.4(+3.8)	83.0(▲3.7)	2.6(▲0.1)
H30 全国	女子	7.9	89.4	2.7
H30北海道	女子	10.0(+2.1)	87.0(▲2.4)	3.0(+0.3)

② 中学校

		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)		
		肥満	正常	痩身
H30 全国	男子	7.8	89.5	2.7
H30北海道	男子	10.0(+2.2)	87.3(▲2.2)	2.7(±0.0)
H30 全国	女子	6.2	89.7	4.1
H30北海道	女子	6.9(+0.7)	88.6(▲1.1)	4.4(+0.3)

(3) 児童生徒質問紙調査

※ () は全国との差

① 「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均より高い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H30 全国	72.9	55.5	63.5	47.5
H30 北海道	76.0 (+3.1)	58.4 (+2.9)	68.4 (+4.9)	49.8 (+2.3)
H29 北海道	75.8 (+2.6)	59.3 (+2.9)	66.8 (+3.4)	48.6 (+1.5)
H29 北海道からの増減	+0.2	▲0.9	+1.6	+1.2

② 「運動やスポーツは大切」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均より高い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H30 全国	69.6	57.9	64.9	52.2
H30 北海道	74.5 (+4.9)	63.0 (+5.1)	68.4 (+3.5)	52.5 (+0.3)
H29 北海道	73.9 (+4.2)	62.6 (+4.9)	66.0 (+2.2)	49.4 (▲0.4)
H29 北海道からの増減	+0.6	+0.4	+2.4	+3.1

③ 「中学校に進んだら(中学校を卒業した後)、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均より高い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H30 全国	76.8	69.1	71.0	59.2
H30 北海道	81.1 (+4.3)	73.6 (+4.5)	73.6 (+2.6)	60.1 (+0.9)
H29 北海道	81.1 (+3.5)	74.3 (+3.6)	73.3 (+2.2)	58.4 (+0.1)
H29 北海道からの増減	±0.0	▲0.7	+0.3	+1.7

④ 「体育(保健体育)授業以外における1週間の総運動時間が60分未満」と回答した児童生徒の割合は、小学校の男女は全国平均より低く、中学校の男女は全国平均より高い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H30 全国	7.2	13.2	6.5	19.4
H30 北海道	7.1 (▲0.1)	12.3 (▲0.9)	9.4 (+2.9)	22.9 (+3.5)
H29 北海道	6.7 (+0.4)	11.5 (▲0.1)	9.1 (+3.1)	23.7 (+4.6)
H29 北海道からの増減	+0.4	+0.8	+0.3	▲0.8

⑤ 「体育(保健体育)の授業は楽しい」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均より高い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H30 全国	73.6	59.6	51.9	40.8
H30 北海道	76.1 (+2.5)	61.3 (+1.7)	56.8 (+4.9)	42.3 (+1.5)
H29 北海道	75.5 (+2.5)	61.1 (+1.3)	55.4 (+5.1)	41.6 (+2.1)
H29 北海道からの増減	+0.6	+0.2	+1.4	+0.7

- ⑥ 「授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されている」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均より低い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H30 全国	50.6	48.4	62.9	61.0
H30 北海道	47.0 (▲3.6)	44.4 (▲4.0)	62.7 (▲0.2)	59.9 (▲1.1)
H29 北海道	46.5 (▲3.5)	44.8 (▲3.2)	59.1 (+0.9)	56.6 (+0.3)
H29 北海道からの増減	+0.5	▲0.4	+3.6	+3.3

- ⑦ 「授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っている」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均より低い。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
H30 全国	33.2	31.3	43.4	45.1
H30 北海道	25.5 (▲7.7)	22.9 (▲8.4)	40.4 (▲3.0)	40.4 (▲4.7)
H29 北海道	22.9 (▲7.8)	21.0 (▲7.5)	39.3 (▲1.1)	40.1 (▲1.6)
H29 北海道からの増減	+2.6	+1.9	+1.1	+0.3

(4) 学校質問紙調査

※ () は全国との差

- ① 児童（生徒）の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定している学校の割合は、小中いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
H30 全国	80.4	73.4
H30 北海道	93.6 (+13.2)	85.2 (+11.8)
H29 北海道	85.2 (+16.8)	75.0 (+14.2)
H29 北海道からの増減	+8.4	+10.2

- ② 体育（保健体育）の授業以外で全ての児童（生徒）の体力・運動能力の向上に係る取組を行っている学校の割合は、小中いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
H30 全国	87.1	47.7
H30 北海道	92.9 (+5.8)	74.3 (+26.6)
H29 北海道	93.9 (+5.9)	66.9 (+19.9)
H29 北海道からの増減	▲1.0	+7.4

- ③ 授業等の工夫・改善を行っている（行う予定）学校の割合は、小中いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
H30 全国	84.4	89.1
H30 北海道	94.7 (+10.3)	92.4 (+3.3)
H29 北海道	95.4 (+10.1)	90.5 (+1.4)
H29 北海道からの増減	▲0.7	+1.9

- ④ 児童（生徒）の体力・運動能力の向上に関する取組、体育授業における指導方法の工夫・改善について、全教職員で進めている学校の割合は、小中いずれも全国平均より高い。

	小学校	中学校
H30 全国	59.7	26.2
H30 北海道	87.5 (+27.8)	46.9 (+20.7)
H29 北海道	90.0 (+28.1)	43.9 (+18.5)
H29 北海道からの増減	▲2.5	+3.0

- ⑤ 新体力テストを調査対象の学年以外でも実施している学校の割合は、小中いずれも全国平均より低い。

	小学校（第4学年）	中学校（第1学年）
H30 全国	87.5	88.6
H30 北海道	80.1 (▲7.4)	86.9 (▲1.7)
H29 北海道	78.8 (▲6.9)	91.4 (▲2.3)
H29 北海道からの増減	+1.3	▲4.5